**第190回月例研修会実施要領**

１　趣　旨

我が国の自殺者数は、平成10年以降、14年連続で３万人を超える状態が続いていたが、24年

に15年ぶりに３万人を下回り、22年以降は減少を続けており、25年は２万6,063人、26年は２万5,427人となった。年齢階級別の自殺死亡率の推移をみると、40歳代以上で低下傾向にあり、特にここ数年は20歳代、30歳代も低下傾向にある。

しかし、我が国における若い世代の自殺は、15～39歳の各年代の死因の第１位が自殺となっており、この状況は国際的にみても深刻であり、15～34歳の若い世代で死因の第１位が自殺となっているのは先進７カ国では日本のみで、その死亡率も他の国に比べて高い。

これらのことを踏まえ、若者を支援対象としている、とちぎ思春期研究会においても若者の自殺に対する考えを理解し少しでも多くの若者を自殺から遠ざけられるような支援ができるように自殺の現状と支援方法について学ぶ機会を設けることとした。

２　日　時

　平成28年3月19日（土）14時～15時30分

３　会　場

　とちぎ健康の森　2階　小会議室

　〒320－8503　栃木県宇都宮市駒生町3337－1　　電話028－622－2846

４　内　容

（1）テーマ　～学ぼう若者の自殺の現状と、自殺を防ぐ支援について～

　　　　①自殺の現状について（自殺に関する統計から）

　　　　②自殺を防ぐ支援について（いのちの電話の現状と対応について）

（2）講　師

　　 社会福祉法人　栃木いのちの電話

　　 　　　　　　　事務局長　大橋房子氏

５　受講対象者

　　会員及び一般（思春期保健に携わっている方々）

６　参加費

　　会員無料、会員外500円

７　問い合わせ先

　　とちぎ思春期研究会事務局長（上都賀総合病院）　　FAX　0289－63－5267

FAX送信票

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| あて先：とちぎ思春期研究会事務局長FAX028９-63-5267 | とちぎ思春期研究会第１９０回研修会の出席者について | 発　信： |
| 所　属： |
| 担当者： |

とちぎ思春期研究会第１９０回月例研修会（３月１９日）の出席者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所　　属 | 職　名 | 氏　　名 | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

* 添書不要です。